

# 明日にむかって

発行/社会福祉法人 陽光会 陽光保育園 編集/陽光保育園 「明日にむかって」 編集委員会  
発行日/2001年11月10日 住所/東京都板橋区大谷口上町23-1 ☎03(3956)1068

37号

ニュージーランドでは「はじめから親はりっぱに子育てができなくても当たり前。父親も母親も学習しながら親になっていく」という考え方が、社会の隅々まで合意となってゆき渡っていて、それが子育て支援にも顕著な形で反映されているそうです。ニュージーランドの女性の社会的活動に大きな影響力を及ぼしたブランケット総督夫人は「母親は子どもをどのように育てるかを本能的に知っているという古い考え方は、ナンセンスなこととして、母親は子育て方法について助言される必要があります」と言い、子育て支援を推進させたのです。/日本での子育て支援はどうでしょうか? 虐待問題を切り口として今の子育ての実態を直視すれば、親が人として成長していくゆとりや機会がいかに準備されていないかが明らかです。/親が親として育っていくための本当の支援を届けるためには「母親は生来的に子育ての適正も備えているはずだ」とする母性観を取り除くことが必要です。(T・R)

## 変わりゆく保育園

小泉首相が「待機児童ゼロ作戦」を述べてから、保育園はこれまでにも増して大きく変わろうとしています。

「最小コストで最良・最大のサービスを」とする「待機児童ゼロ作戦」の具体的な目標・施策の第一は「保育所、保育ママ、自治体単独施策、幼稚園の預かり保育等を活用し、二〇〇一年度中に五万人、二〇〇四年までに一〇万人の計一五万人の受入れ児童数の増大」で、保育所から幼稚園の預かり保育までを同列に並べ、あらゆる手段を使っています。さらに新設保育所は企業・非営利組織など民営を基本とし、区市町村が保育所を整備して運営は民間に委託する「公設民営方式」の推進、「定員の弾力化・設置基準の緩和、保育所併設施設を増やすための支援」もあげられています。

こうした国の動きを受け、自治体では民営化の動きが起きてきています。

## 保育園が危ない!!

「待機児童ゼロ作戦」のほんとうの意味は…?

今年四月、東京都三鷹市で全国初の公設企業管保育園がオープンしました。

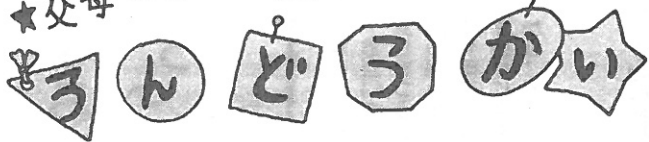
企業側の担当者は「運営費の使い方を自由にするなどの規制緩和を期待する」と言っているそうです。規制と呼ばれるものの多くは子どもの成長に大切な要素であり、守るべき基準です。利益追求を基準とする「企業の論理」が前面に出てくるなら、「子ども」を置き忘れてしまうのではと不安です。

## 企業参入をおしすすめる

東京都が子育て支援策の一環として創設した「認証保育所制度」が、今年八月一日からスタートしました。

「認証保育所制度」とは国の認可保育所の設置基準を都独自に緩和。認可保育所より二時間長い一三時間保育やゼロ歳児の受入れなどを要件として、一定の運営費を都と区市町村が、従来の無認可保育所への補助では対象外だった民間企業にも補助をするというものです。都ではこの認証保育所を今年度中に数か所設置する計画です。企業参

## ★父母とともに創る★



陽光保育園では、9月に入るとそれぞれのクラスで運動会に向けての取り組みが始まります。1カ月半の取り組みの中では、子どもの変化に驚いたり、励まされることばかりです。父母の皆さんもいつになく丹念に「保育日誌」に目を通して、夕食のときなどの話題にしているようです。父母とともに子どもの成長を願っているこの時期に、子どもはぐんと大きく成長していきます。そして運動会当日は、我が子だけでなくクラスの子どもたちの成長を確かめ合う場となります。



親子競技もいろいろあります。袋をかぶったお父さんの手を引いて走るのはとんぼ組(3歳児)の子どもたち

当日の運営に欠かせないのがお父さんお母さんたちの協力態勢です。毎年、朝の設営・道具の運搬・競技中の道具係等をお願いしています。額に汗をかきながら道具を運搬している様子は心に熱いものを感じます。来賓の方も父母の協力態勢に驚かれるようです。いつも快く引き受け、子どもたちのために尽くして下さるお父さんお母さんの姿に支えられ、子どもたちも最高の力を発揮して応えます。



「みんなで踊ろう」では、沖縄の民謡「川ぬハンドウイ」の曲にあわせてジャンケンゲームをしながら親子で踊りました

まさに運動会は子ども、保育者、父母が一体となった園の文化の創作活動です。今年10月27日に開催。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

## いま子どもたちに必要なのは

たしかに保育所に入りた、入れなければ働けないという父母の願いは切実です。しかし、だからといって預けられればどんな保育所でもいいという

入・競争原理が、今まで以上に保育の分野に持ちこまれるでしょう。板橋区においても今年度中に何か所かオープンする予定があるそうです。

ことではないと思います。子どもには「子どもの時間」があり、それを十分に保障してあげるために保育士は専門性を磨き、子育ての悩みを抱えている親と心から向き合って、学び、実践できる保育が求められているのです。

そのためには子どもの人権を最優先する視点を持ち、児童福祉法の理念をふまえた乳幼児の福祉事業として地域に根ざし、安定的・継続的な運営をすすめられるような公的な保障がされなければなりません。また保育料が高くないということも重要です。子どものための願いを切り下げることなく、公の責任による実現を求め、地域での待機児解消計画を実践していくことが必要になってきています。

(園長 高田礼子)

## 平成14年度入園案内

入園申し込み受付は11月からはじまっています。  
★詳しい入園案内は「広報いたばし」9月29日号に掲載。  
★申込書と「ほいくじょうほう」は区内各保育園や出張所にもあります。  
★板橋区内保育園パーフェクトデータ・ホームページ  
<http://www.hoiku.net/>  
板橋区私立保育園園長会は「板橋区内保育園パーフェクトデータ」のホームページを開設しています。入園の手続きや空き状況(毎年初め)、イベント等の案内、公立・私立各園の案内のページもあります。ぜひご覧ください。

## 園児募集—今すぐ入れます

- 3歳児——1名
- 4歳児——1名
- 5歳児——5名

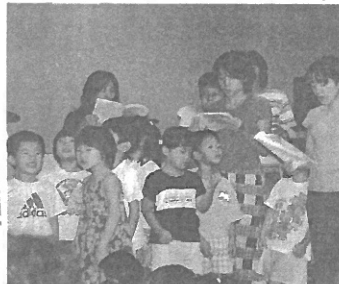
\*お申し込みは、区保育課まで。

## ★最近の行事から



8月4日(土)5日(日)、陽光保育園後援会の夏の交流会で鶴原(房総)の海へ、子どもは幼児から中学生までが参加。すいか割りや花火大会も楽しんできました。

10月28日(日)、荒馬座公演「春駒まつり」を産文ホールで開催(後援会主催)。来場者は幼児からお年寄りまで約150人。最後はみんなで荒馬踊りを踊り、大いに盛り上がりました。



9月28日(金)、陽光保育園父母の会の主催で「歌いまくりの会」を開催。大人37人、子ども40人が参加して、思いっきり歌いまくりしました。

## 親子でいっしょに遊ばせよう

陽光保育園では、地域の乳幼児、お母さんを対象に月1回、「親子でいっしょに遊ばせよう」の催しを行っています。同時に育児相談にも応じています。お気軽にご参加ください。  
【対象】 0歳児～5歳児  
【場所】 陽光保育園  
【時間】 午前9時～11時  
●2001年度・今後の予定  
12月10日(月) 1月15日(火) 2月14日(水) 3月6日(木)  
●事前にご連絡のうえ、活動しやすい服装でご参加ください。無料です。☎3956-1068

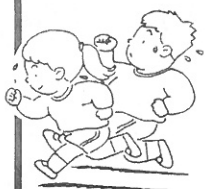
## こあんない

◆陽光保育園後援会・秋の交流会  
日時 11月18日(日)  
場所 高麗・巾着田  
\*山登りなどを楽しんだあと、川原で鍋をかこんで交流します。  
◆冬のバザール  
日時 12月2日(日) 10時～14時  
場所 陽光保育園  
◆父母のための学習会  
CAPワークシヨップ  
\*CAPとは、子どもにとって大切な三つの権利(安心する、自信をもつ、自由に生きる権利)のことです。この子どもの権利をどうやって守っていくべきかを一緒に考えましょう。  
\*来年2月開催予定(詳しくは陽光保育園まで)。父母の会・後援会共催。

去る8月、板橋区は公設民営方式で保育園をつくることを公表し、運営できる社会福祉法人を募集しました。陽光保育園(社会福祉法人陽光会)もそれに応募しましたが、残念ながら選ばれなかったことをお知らせしておきます。

# ヒトが人間になるとき

## その3 仲間のなかで育つ



0歳、1歳でも仲間との関わりはありますが、2歳以上になると、もっとも密接な関わり方をするようになってきます。言葉を媒介に主張し、お互いの気持ちをぶつけ合ったり、受け入れたり、友達遊びを模倣したりしながら、少しずつ心も体も育っていきま

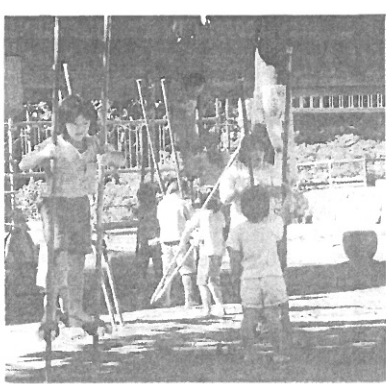
### 5歳児

## 心臓の音が聞こえてきそうだよ

かもし組(5歳児クラス)担任 宗形 博美

9月25日(火)

竹馬を持って交通公園に行きました。先週の金曜日ほどの竹馬の歩数がどんどん増えました。今日は三日乗っていません



交通公園は竹馬の練習にもってこい

めか、なかなか苦勞している様子。それでも美森、浩太、聡美、満輝は、何とか感覚を取り戻そうと必死に練習していました。宗形が他の子の様子を見てると、何里、美里野、郷理、聡美、直仁が「みもりー、がんばれー、おらないでよー」と声援を送っているのを見て、美森が「〇〇ほど先にある大きなケヤキの木を回り、こちらに帰ってくるよー」と言っていました。みんなの元で歩き通すことができ、「みもりー、やったね、二段だよー」「すごいー」と何里、みんなからも自然と拍手がわき、なんだかジーンとしてしまいました。美森もみんなに迎えられる、「二段を乗り越えよう」と意欲満々のが嬉しいですね。

### 3歳児

## 思う思うの「フレイ遊び」

とんぼ組(3歳児クラス)担任 徳留 人美

9月21日(金)

交通公園に行くと、かもし組の竹馬を見てから、とんぼ組の部屋に来ると、一番に帰ってきていた翔くんが一人でペランダの椅子を全部運んで、椅子を裏返しに並べ、長い長い電車を作ってくれていました。これは「ごっこ遊び」に展開しようです。



お父さんお母さんになりきって

### 2歳児

## 交通公園のすべり台に挑戦

あひる組(2歳児クラス)担任 及川 悦子

9月18日(火)

交通公園の大型すべり台で遊びました。陸がすべり台の下から登り始めました。すると手が吸盤のように吸いつき、スイスイ登れます。負けず及川も登ります。今日は少しすべり台が濡っていて登りやすくなっています。朋子もチャレンジ、半分まで行くも膝をついてしまいました。膝をついたらもう登りません。「足を立てて」と言うので足を立てるんです。すると登れて「やったー」と大喜び。俊介はスルスル登り、朋子を上から見守っています。莉永も登ります。でも半分まで登ると力尽きて落ちてしまいました。それでも諦めず最後には登りきって、いい笑顔。「できたー、みてー」と言ってもう一回できると、嬉しくて何回も繰り返しました。

そこへうさぎ組がやってきました。うさぎ組も逆のぼりをする、あひる組も負けず登っています。寛人もチャレンジしたけどできず、右脇にある石の斜面を登って「できたー」と大喜びしていました。あとは中実、莉永、朋子、俊介、陸、優祈子は及川と繋がってすべり台を何回もすべりました。



## 親ができる精一杯のこと

私が父親になってもう一六年になり、上の二人の娘はそれぞれ高校生、中学生です。この二人の娘が小さいころは仕事を終えて家に帰り、娘たちをお風呂に入れるのが私の役目、それで一日の疲れがとれていました。しかし今は、「お父さんの出番」といっても、育児・家事など、ほとんど母親の毎日の仕事です。年が離れて息子が生まれたとき、三人の母親(妻と二人の娘)に私の出番はとられてしまったようです。ただ、今年の夏くらいから、息子と二人でよく銭湯に行くようになりました。父と子のスキンシップに少しでもなればと思っています。

息子を保育園に入れるのは、私自身は反対でした。息子のためにそのほうがいいという妻の意見に押されて入園させたものの、最初のころは送り迎えをしながら、だまって見ていました。体が弱く、病院通いはかりしていた息子が、そのうちだいにたくましくなっていました。体と心もたくましくなり、友達のかかりのなかで大きく成長していききました。運動会の竹馬の練習で、一歩を踏み出すまでがなかなか大変だったのが、一歩を踏み出したとき、またひとつ大きな成長が感じられました。何かをやりとげたときの達成感、大人になってからも自信につながり、感動をおぼえるものですね、年長児として、何事にもチャレンジすることを怖がらず、最後までやりとげてほしいと思っています。

### 4歳児

## 励ましの中で気持ちを育む

うさぎ組(4歳児クラス)担任 大澤 三鈴

10月2日(火)

運動会である「戸板のぼり」に挑戦しました。今日は高さをグリーンと上げ、テーブルの上に戸板を置いてみました。今までは床に直接戸板を置いて、簡単に飛び降りていた子どもたちも、さすがにこの高さになると怖いらしく、戸板の上まで登ると、クルッと後ろ向きになり、忍者のように飛び降りる子はほとんどいません。大澤が「飛んでみようかなあ、と思える子はもう一度やってみようか?」と言うと、ほとんどの子が「ハイ!」と元気に手を挙げました。ところが雄大が「やらない、うんどうかいにいかないからいい」と言い始めました。大澤が「そんなこと言わないで、雄大も頑張ろうよ!」やればきっとできるよになるよ」といくら説得しても「うんどうかいにいかないの」の一点張り。

大澤「どうしよう、雄大が運動会出ないって言うてるよ」と子どもたちに投げかけてみました。成佳「それは、こまるよ!」美央「がんばれば、できるのに!」捷太「うさぎは、みんななかまなのにね!」昇吾「そうだよ、ななかまだ、ななかまだ」



よーし、飛ぶぞ!

大澤「雄大、皆が言ってくれているけど、どうする? やってみる?」雄大「うん!」と仲間にも励ましを勇気を出してやり始めた雄大でした。大澤がいっしょに話しても「やる」と言わなかったのに、仲間の力は大きいです。また、仲間の励ましに励まされるようになった雄大もすいぶん成長しました。運動会の取り組みは集団としてのルールを身につけ、個人が高まり、クラスとしても飛躍する絶好の機会でもあるのです。